

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」新河岸校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		パーティション等で児童に合わせたブース内環境設定を整える。	継続して臨機応変に対応していきます。
	②	職員の配置数は適切である	4	2	受け入れ人数に対しての職員数は適切である。	職員数の確保を行い、安全面の強化を向上させます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	5	段差がある場合など、事前に声掛けを行い注意喚起を促す。	児童が支援に集中出来る環境づくりを行っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	3	毎日の清掃、衛生管理など教室間で取り組んでいる。	現在は支援直後にも教具やブース内全体の消毒を行っております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1	適宜職員間で情報を共有し、振り返りを行っている	各自で時間管理を行い、定期的に職員間で話し合いの場を設けています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	年に一度保護者の方へ事業所評価のお願いをしている。	保護者からの意見には職員間で情報共有し日々業務改善に努めていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		事業所評価についてまとめ、ホームページに掲載している。	支援後のフィードバックや定期的な面談を通して保護者様のご意向に傾聴してまいります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6	今は外部評価については取り組んでいないが、今後必要な場合は外部評価を行う。	現在は実施しておりません。今後の実施予定については未定。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		テーマ研修や事例検討会が実施されている。	発達研究所主催の研修や事業所内研修、外部研修などに参加できるよう努めてまいります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1	職員間での話し合い、保護者とのモニタリングを経て作成している	常に客観的な視線で分析できるよう心掛けます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		統一したアセスメントツールを使用している	職員全員が確認し実施していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		適切な対応を心掛けている。	ガイドラインは、各スタッフに観覧するよう働きかけ、支援内容に活かすことができるように改善してまいります。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	1	計画についても常に確認ができるような体制を整え、計画に沿って支援を行っている。	支援計画更新や見直し前に 随時保護者へご相談させていただいております。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	立案については各職員で行っているが、振り返りや共有はチームで行っている。	常に情報共有し、最善のプログラムとなるよう立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		担当を一人に決めず、様々な職員が関わることで、活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	時間を活用し、オリジナル教材を作成している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	1	状況に応じて集団での活動を取り入れている。計画については全体的な部分での作成をおこなっている。	コロナ渦では集団活動は難しいが、収束したら取り組みたい。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	直接の連絡の他、クラウド サービスを使いながら連携をとっている	支援直前にも、前回の内容 など、必要な事柄の確認をしています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	直接の連絡の他、クラウド サービスを使いながら連携をとっている	情報の相違が無いよう、職員全員での情報交換を行っております。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		こどもの様子や支援内容を具体的に記録し、共有している。	記録内容も定期的に確認し 差異が無いように努めています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		最低でも6ヶ月に1回モニタリングをおこない、計画を見直している。	今後も、状況を確認しながら対応していきます。
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		教室内の状況によって、必ずしもとは限らないが、できるかぎりふさわしい者が参加できるように努めている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	相談支援事業所との共有は おこなっているが、それ以外の部分は行っていない。	相談支援事業所及び学校等、必要に応じて連携を行っております。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	重症心身障害を持つお子様が いるが、連携の準備が できている。	引き続き必要に応じて準備及び対応していきます。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5	重症心身障害を持つお子様が いるが、連携の準備が できている。	引き続き必要に応じて準備及び対応していきます。
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	保育園等の情報については、保護者の方からの情報が主となっている。	引き続き必要に応じて準備及び対応していきます。
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	現在は行っていない	保護者の方からの要望があった際に行っています。

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	担当者会議を実施することがある。	相談支援事業所及び学校・グループホーム等、必要に応じて連携を行っております。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	個別での対応をおこなっているため、交流の機会は設定していない。	必要に応じて準備及び対応していきます。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6	現在、直接的な関わりはない	参加機会があれば、参加していきます。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		FB や支援中の時間に、保護者から話を聞く機会を作っている	フィードバックの時間が無い時は、後日情報交換を行うようにしています。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		6	今年の実施はなし	フィードバックの時間を利用し、対応についての助言を行っています。
	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約の際や変更があった時など適宜行っている。	分かり易いことと誤解のないことを心掛けて説明を行っています。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1	相談に対して、どのような助言や支援ができるか話し合い、助言や支援を行っている。	保護者からの要望やお子様に変化が現れた時も、適切に対応していきます。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	相談に対して、どのような助言や支援ができるか話し合い、助言や支援を行っている。また、定期的にモニタリングを実施している。	今後も、相談しやすい環境づくりに努めていきます。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		今後、機会を作っていきます。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		相談については、迅速に職員同士で共有し、対応を行っている。	利用者が相談しやすい環境づくりに努めていきます。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3	ブログやLINEを通して活動概要や行事予定の情報を発信している。	今後も、継続して発信していきます。
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意している	6		鍵付きのロッカーに入れ保管をしている。	今後も、継続して対応していきます。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		可能な限り個々に応じた対応を行っている。	適切に行うことができるよう、今後も務めて参ります。
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	地域住民を招待するイベントは実施していない。	機会があれば、今後検討していきます。
非常時	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	各マニュアルを策定し、職員や保護者が見えるところに貼り周知している。	保護者様も観覧することができるよう改善していきます。

等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		月に一度避難訓練を実施し、必要な訓練を行っている。	安全な形で利用児童の参加も踏まえ対応できるように検討してまいります。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	1	保護者からお話があった際に確認を行い、職員間で共有を行っている。	体調的にも変化がないか、確認を取って参ります。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	食事の提供は行ってない	体調的にも変化がないか、確認を取って参ります。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		共有を行い再発防止の話し合いをしている。	どんな些細な事であっても、話し合いの場を設け、適切に対応してまいります。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		年に1回必ず虐待防止研修を行っている	確認を行いながら職員一同同じ意識のもと適切に対応してまいります。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		身体拘束を行う場合には教室内で話し合いを行い、保護者へ同意書のサインをいただき、行政へ連絡したうえで実施している。	現在、必要な利用者はいません。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新河岸校

保護者等数（児童数）：10 回収数：7

割合：70%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7				人数に配慮した環境作りがされている。	引き続き継続いたします。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7				そう思う。	状況に応じて補助の指導員を配置いたします。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3		4		そう思う。	引き続き、安全にご利用いただけるよう声掛けや張り紙等で注意を呼び掛けて参ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7				そう思う。	今後もご要望やご意見を聞きながら対応していきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7				そう思う。	モニタリングやアセスメントを行い、支援の様子を踏まえて会議を行い計画書を作成しています。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			1	そう思う。	利用者様の状態に合わせたプログラムを組むために、ミーティングを行っております。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				そう思う。	今後も支援内容変更時には相談させていただき、計画を変更していきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7				指導員が沢山いて固定でない為、毎回違ったやり方で新鮮さがあり、子どもにあっていると思っています。	今後も様々な療育支援を提供いたします。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	3	利用始めたばかりで分かりません。	ご希望があれば考えたい。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7				契約時に説明を受けました。	ご契約時に説明させていただいている。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7				最初に説明は受けた。	引き続き継続していきます。

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1		1	5	利用始めたばかりで分かりません。	ご希望があれば考えたい。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7				不安な事など伝えると次回の支援に盛り込んでいただだけ対応してもらえるので嬉しいです。	お子様の発達段階にアンテナを張り、ご満足いただける療育支援を提供いたします。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1		2	利用始めたばかりで分かりません。	保護者の育児に対する不安等ある場合は事業所内相談に繋げるようにしている。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	2	4	利用始めたばかりで分かりません。	保護者が交流できる機会を持てるよう検討していきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6			1	まだ相談をしたことはないが、最後に何かあるかを毎回聞いて下さる。	何かご相談等あれば、すぐに対応できるように心がけていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7				スマホアプリなどを通じて、連絡は取りやすくレスポンスも早い為とても助かっています。	今後も連絡漏れがないよう職員全体で情報共有して参ります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4			3	LINEなども活用して最新の情報を発信して下さり、助かっています。	引き続き、様々なツールを活用してお客様に役立つ情報を発信いたします。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7				利用始めたばかりで分かりません。	鍵のついたキャビネットで保管している。
	非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	1		4	説明は受けました。
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1			利用始めたばかりで分かりません。	消防・防災計画の作成を行っています。随時、訓練等を行っています。
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7				とても楽しみにしていてご褒美のような扱いです。きらりに来るのを楽しみにしています。	今後も皆様に愛される教室づくりに努めて参ります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7				通い始めて数か月たちますが、明らかに出来ることが増え、とても満足しています。	ご利用者様が楽しい居場所、成長が感じられる支援を提供していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。